



医歯学系 教授
小川 祐司
OGAWA Hiroshi



医歯学系 助教
カウン ミヤット トウィン
Kaung Myat Thwin

専門分野

国際口腔保健学、口腔衛生学、予防歯科学

医療・健康・福祉

ユニバーサルヘルスカバレッジにおける オーラルヘルスプロモーションモデルの構築

キーワード グローバリゼーション、オーラルヘルス、WHO

研究の目的、概要、期待される効果

2007年2月、日本初の口腔保健に関するWHO（世界保健機関）協力センターに、予防歯科学分野が指定されました。WHOの基本理念である「国際的な口腔保健推進」をコンセプトに、

- ・口腔保健分野の教育、研究プロジェクトを推進し、基礎、疫学研究から応用研究へと展開し、最先端の口腔保健分野をリード
- ・諸外国の大学や研究機関と連携して多角的教育研究ネットワークを構築し、口腔保健分野の国際的教育研究拠点を形成
- ・若手研究者を海外に派遣し、また本学に招聘し、将来の口腔保健推進を担う人材の育成と活動の支援を主要目標としています。



WHO口腔診査法標準化のトレーニング（カンボジア）

幼稚園フッ化物洗口プログラム
（ミャンマー）学校歯科検診プログラム
（ミャンマー）関連する
知的財産
論文 等

1. Framework for development of Oral Health Policy and Strategies in Myanmar (https://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~prevent/image/pr190724/pr190724_framework.pdf)
2. WHO Global Oral Health Database (<https://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~prevent/perio/contents.html>)
3. Anti-caries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar schoolchildren. Thwin KM, Ogawa Hほか3名: Oral Health Prev Dent, 2022.
4. Maternal factors in relation to early childhood caries among preschool children in Myanmar. Thwin KM, Ogawa Hほか2名: Asia Pac J Public Health, 2023.

アピールポイント

現在は、ミャンマーでの幼稚園および学校
歯科保健構築、WHO Healthy Ageingにおけ
る口腔健康の実質化等に取り組んでいます。

つながりたい分野（産業界、自治体等）

UHCに根差した SDG s を実践している
自治体等と口腔保健のモデル構築を希望し
ます。